

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1. 地域密着型サービス事業として位置づけられ、地域に親しまれ、根ざし開かれた介護事業として資質の向上に努めている。 2. 利用者が最後まで、人間らしく、人格を尊重された、有意義で楽しい生活環境の中、何時までも暮らせられる様な人生に手助けできることを、地域に根ざした支援を目指していく。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1. 上記の理念を目標として、日々、利用者本位を常に心がけて、QOLの向上による自立支援を追求して、社会復帰へのきっかけとなる在宅復帰を目標とする支援に努めています。 2. ホール内に理念を掲げ、毎日朝礼時に復唱している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	1. 小竹町、社協等に広報活動を通して、ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう行っています。地域に対しては、勝野2区の13組となり定期的に組長会議に出席し、ホームの説明会を行い理解を求めています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	1. 隣接の勝野2区5組の方が、犬の散歩につき合ってもらったり、主婦の方が畑で取れた野菜を時々持って来て頂いています。もちろん、ホームで出来た野菜もお返しで利用者を介し家まで届けています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	1. 隣組の夏祭り盆踊り大会に、利用者を連れて参加しています。秋の公民館祭りに利用者を連れて、各イベント会場に参加したりしています。 2. ホーム独自のゲートボール場を作りましたので、地域の小中学生を始め老人会の方が練習試合を兼ね来て頂いています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	1. 地域密着型以降、市町村担当者と運営推進会議以外で、情報交換は十分ではありませんので、今後とも、出来るよう努めて行きます。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	1. 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度については、資料を収集していますが、勉強会等で職員に十分に周知はしていますが、更に、今後とも、活用できるよう努めます。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>1. 入所希望時に事業所の契約に関する内容を十分に説明し、さらに、入所時(退所時)も納得いかれるまで話し合いを励行しています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1. 事業所に苦情処理要綱を整備しています。苦情処理担当者を選任し、職員一丸となって受け入れられる体制を整えています。ただ、外部との設問は、ご家族とすることでしょうか。それなら当然にそうしていますし、その内容により出来るだけ反映できる様にしています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1. 入所者の預り金に関しては、現金出納帳を未締めで翌月の請求時に領収書添付の書類で報告し、確認印を頂いています。暮らしぶりや健康状態については、もくれん月報でさらに、面会時を利用したり来れない方は定期的に電話で報告しています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1. 事業所に苦情処理要綱を整備しています。苦情処理担当者を選任し、職員一丸となって受け入れられる体制を整えています。 2. ご家族の方に関しても当然にその機会を設けており、ご意見箱を設置し出来るだけ反映出来る様にしています。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>1. ほとんど毎日、午後1時30分頃からスタッフミーティングを励行しており、その場で、色々と意見、提案を収集しています。記事録を残していますので、出勤でなかった職員も閲覧出来る様にしています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>1. 管理者、責任者、主任とこの3名により、常に、利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応が出来る体制を整えています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>		
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>		
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	1. グループホームや施設等の相互交流訪問を、今後、断続的に行う。
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	1. 本事業所は非常勤から職員になるケースが多く、やる気と実力のある方は年齢、経験年数に関わらず役職職員として登用しています。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	1. AM10:00とPM3:00のティータイムで、スタッフ全員で話し、それぞれの利用者との話し合いの中から本人のニーズを引き出せるように努めている。 2. スタッフ全員が勤務の時、1日必ず利用者に1人最低10分の関わり合いを持つことにしている。	
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	1. 入所時、書面において、グループホームの役割等の説明を十分に行い、いつでも、話しができる機会を設けている。	
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	1. 入所時、アセスメントを十分に行い、本人と家族のニーズを確認して、介護計画を作成している。	
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	1. 入所から1週間程度の観察期間が経過した時点で、仮プランから介護計画を作成している。支援経過に基づき、本人が安心し、納得できるような内容にし、サービスを利用する場合は、職員が他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう努めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	1. 月報により本人の状態を把握し、すべての入居者と関わり合いを持ち、出来るだけ語りかけ、その中から教えて頂くことも沢山あります。気軽になんでも話し合える関係になるよう努めています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>1. 民生委員やボランティアの方と協力し支援している。</p> <p>2. 警察、消防、文化・教育機関等と協力し乍ら支援している。</p> <p>3. 地域ゲートボール団体、御徳サンサインアンビシャスと協力し乍ら、老人会及び青少年との交流を行い支援しています。</p>	<p>○</p> <p>1. 今はまだ十分に文化・教育機関等との協力関係が出来ていません。今後、早急に小竹町関係機関との協力関係を整えます。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>1. 地域の居宅のみならず、町内外の居宅と常に情報交換を行っています。</p> <p>2. 介護保険内で使えるサービスとして、今最も利用したい理学、作業療法士による訪問リハビリです。</p>	<p>○</p> <p>1. 入所者のニーズにより、一度過去に訪問リハビリを頼みましたが、保険外と言うことで断われています。</p> <p>2. これも以前、小竹町に提唱してきたことですが、他のサービスが利用できるのは確か、療養型施設ですが、今のところ利用できるサービスが限定されていますし、費用がかかります。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>1. 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働して行きたい。</p>	<p>○</p> <p>1. 地域密着型以降、市町村担当者と運営推進会議以外で、情報交換は、一部のグループホームか居宅しかありませんでしたが、今後は市町村、地域包括センターと連携し、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、情報交換を行って行きます。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1. 本事業所は2つの協力医療機関を持っており、総合病院と個人医院とも両医師の関係を構築し色々な相談を受けています。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>1. 本事業所は2つの協力医療機関を持っており、総合病院と個人医院とも両医師の関係を構築しており、両医師とも大きな病院の勤めもあり経験豊富で、認知症に関して色々な相談を受けています。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>1. 本事業所は2つの協力医療機関を持っており、掛かり付けの病院で看護師とも顔見知りになり色々な相談を受けています。</p> <p>2. 本事業所は、夜勤帯に看護師を雇用しており、協力医療機関とは別に、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医師等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>1. 各入居者一人ひとりのペースにあわせ、くつろいだ入浴ができるように支援している。</p>	
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>1. 当ホームは共同生活住居であるため、夜間はゆっくり休んで頂くように、昼はホーム内外の活動を行い、極力昼寝は短い時間にし、安眠剤や安定剤を極力使用しないで休めるように支援しています。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>1. 生活歴から、本人が興味があった物や得意としたことを見つけ出し(例:バッチワーク、編み物、書道、オルガン等)、今でも興味を示すかどうか見つけ出し、本人がしたいものを行っています。</p> <p>2. 気晴らしと云えば、春には施設の周りのつくし採りや散歩、また買い物(直方、飯塚ジャスコ、ルミエル等)に行っています。</p>	<p>○</p> <p>1. 前回指摘されたことですが、まだ十分ではありません。</p> <p>2. 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとなどの支援は、それぞれの個別指導の分野になり、責任者は手が回らないと人員の不足を揚げていますが、アセスメントや個別指導計画の書類は準備できていますので、QOLに取り組む段階にきていますので、早い時期に実施します。</p>
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>1. 日常の金銭管理が出来る方は、買い物に行った時は本人が行えるようにし、見守っていますし、入居者一人ひとりの希望や力量に応じて支援している。</p>	
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>1. 本人の希望におうじて、散歩や畑や近くのお店に行き、要物品や好みの買い物に出る機会を日常的につくり、買い物を楽しく行えるようにしている。</p>	
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>1. ホームは、紹介した様に、遠くは八女まで、そして色々な所に行っています。</p> <p>2. 出来るだけ、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる様に常に進言していますが、ほとんどご家族の都合があり、十分に外出外泊される方は少ないのが現状ですが、気長に勧めています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	1. 入居者各自に、机と椅子を貸与しデスクワークが出来るようにしています。 2. 電話は移動式ですので、入居者の必要に応じて使えるようにし、会話は部屋でしています。		
66 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	1. 友人知人、ご家族が気楽に訪問できる環境を整えています。 2. 7畳の居室での、談話もホール内の応接にも気楽に談笑できるようにしています。		
(4)安心と安全を支える支援			
67 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1. 当ホームは身体拘束ゼロを宣言しています。 2. 当然身体拘束のないケアを実践しています。 3. ただ、入居者の生死等に関わる事態が生じた場合は、必要に応じて、ご家族に書類でもって説明できるよう対処しています。		
68 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1. 当ホームは、日中の玄関の施錠はしていませんし、各居室の窓も柵がありません。 2. 各居室は内外で施錠ができるようになっています。 3. 外出を察知した場合は、ドアを開くとチャイムがなるようにしていますので、入居者の動向に注意し、必ず同行し見守り厳守です。		
69 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1. 当ホームは、居室から出ると対面式の構造ですので、一人ひとりがホーム内の場所が分かるようになっています。 2. 食事及び就寝以外は、出来るだけホールで過ごしていただき、かみならず居場所の確認をしています。		
70 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1. 注意の必要な物品は、危ない物は置く場所を選定し、一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	1. 転倒、誤薬、火災については取り組んでいるが、窒息、行方不明の場合事例がありませんのが、今後、状態に応じた事故防止に取り組んでいきます。
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	1. 全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を十分に行っていません。今後、消防署を始め関係機関とも連絡し行って行きたいと思います。
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	1. 地震、水害時の避難訓練は一施設では限度がありますので、今後、消防署をはじめ、小竹町と対策を話し合って身につけて行きたいと思います。
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1. 食事に繊維性の食材を取り入れたり、水分補給を十分に摂取出来る様排便の管理、健康管理表で便秘の管理をしています。 2. 便秘症の方がほとんどで、医師の指示による投薬(カマグ、マグミット)で排便調整を行い、朝夕に出来るだけ散歩を励行し、全員にリハビリを慣行している。		
78 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1. 各食事後に口腔ケアの実施。その時に出血や炎症のチェック等をしています。 2. 必要に応じて手洗いとうがいの励行。		
79 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1. DMの方、医師の指示がある場合は献立を工夫しています。(1400カロリー以下/日、水分1000～1200ml/日を目標) 2. 魚類、野菜等を主体にして献立を組みます。好き嫌いの在る方も調理に工夫をしてできるだけ食して頂ける様にしています。 3. 水分摂取量は介護記録で摂取量を管理しています		
80 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	1. リスクマネジメントとしてのマニュアルは整備しています。 2. リスクマネジメントの勉強会も行い対応が出来る様しています。	○	1. 事例として(インフルエンザ、疥癬)しかありませんが、今後、スタッフの看護師と相談し、肝炎、MRSA、ノロウイルス等の予防と対策を考えて行きたいと思えます。
81 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1. 調理はほとんど火を通じた献立に努め、仕入れた食材は日付を打ち仕入れたものより使用し、賞味期限の過ぎた物を使用しない。 2. 食器は食器乾燥機で滅菌処理し、まな板等は定期的に消毒しています。ゴミはその都度処理し、ざんぱんがシンクに残らない様また、ゴミはその都度外のゴミ箱に処理しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
82 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1. 当ホームは家庭的な雰囲気出す様犬を飼っています。近所の方が散歩の途中立ち寄り、お預けやらおての躰をしています。 2. 玄関まわりや建物の周囲には、植木や季節の花々を植え、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	○	<p>1. ホールのベランダを増築して、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の確保を計画しています。早ければ20年ど中に完成させたい。</p>
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
V. サービスの成果に関する項目				
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。		
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の	
			②利用者の2/3くらいの	
			③利用者の1/3くらいの	
			④ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある	
			②数日に1回程度ある	
			③たまにある	
			④ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と	
			②家族の2/3くらいと	
			③家族の1/3くらいと	
			④ほとんどできていない	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。		
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように	
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度	
		<input type="radio"/>	③たまに	
		<input type="radio"/>	④ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている	
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている	
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない	
		<input type="radio"/>	④全くいない	
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が	
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが	
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが	
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが	
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が	
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが	
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが	
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1. 月報でお分かりになると思いますが、年一回の旅行。今年は、佐賀県の吉野ヶ里遺跡と大和公園の花菖蒲鑑賞。柳川川下り（車椅子乗船）体験、柳川簡保に宿泊。夜は宴会で盛り上がり、カラオケで歌を熱唱しました。
2. 平均して月一度のバスハイクで多いときは三回あった月もあります。近くは、直方チューリップ祭り、箱崎宮のあじさい、遠くは、大刀洗のキンビー
ル工場の春はポピーと秋はコスモスの二回行きます。更に遠くは、久留米高良山森林公園つつじ、ハゼ並木、八女黒木の大藤、グリーピア八女つつじとシャクナゲでこれは一部です。
3. 陶芸家指導の陶芸教室で、釉薬とガス釜がありますので本格的に作陶ができます。作業療法の一環です。
4. 有るところもあるかも知れませんが、ゲートボール場を造りました。あくまでもリハビリ療法の一環です。
5. 8月から、飯塚市筑豊ハイツの水泳教室に週／1回、機能訓練の一環として行っています。